

◇甲斐駒ヶ岳～鋸岳、経ヶ岳

平成28年8月19日(金)夜～22日(月) 鳴原(L)、右田(記録)

前から行きたいと思っていた鋸岳に鳴原さんからお誘いがあり、実現。当初7月の予定が雨で延期に。今回も太平洋側に台風の卵が3つも控えており、好天は望めそうにないが、直前まで天気を詳細に検討し、決行することになった。ルートは、角兵衛沢を登り、熊ノ穴沢を下降するのが一般的のようだが、今回は、甲斐駒頂上を経由して鋸岳に登頂し、角兵衛沢を下ることにした。

8/19(金) 9時30分大阪出発

20(土) 道の駅南アルプスむら長谷(仮眠)⇒仙流荘駐車場 6:00⇒7:00 北沢峠→7:50 仙水峠→9:55 駒津峰→11:25 甲斐駒ヶ岳→13:30 六合石室(小屋泊)

仙流荘は久しぶりだったが、相変わらずバス待ちの列がすごい。6時15分の始発を待たずに臨時便が満員の客を乗せて次々と出発して行く。北沢峠は薄曇り。仙水峠に着くころから空模様が怪しくなり、駒津峰の直前で雨が降り出した。折角の甲斐駒頂上だったが、雨で視界ゼロ。鋸岳に行きそうな様子のパーティーが雨で中止するなか、六合石室まで行くことにする。石室は貸し切りで拭き掃除などして快適に。天気予報で明日の回復を確認し、就寝。



甲斐駒ヶ岳頂上



六合石室

21(日) 六合石室 5:30→6:35 三ツ頭→7:50 中ノ川乗越→8:50 第二高点→10:10 鋸岳 2,685m(200名山)→10:50 角兵衛沢ノ頭→13:30 角兵衛沢出合→15:30 戸台大橋⇒16:00 仙流荘駐車場⇒買い出し⇒道の駅南アルプスむら長谷(テント泊)

昨日の雨は止み、晴れ。鋸岳の核心部に着く頃には岩や鎖も乾いているだろう。中ノ川乗越までは樹林帯で花を楽しみながら進む。中ノ川乗越からはガレ場の急登。上部からの落石に注意が必要。第二高点からは核心部。大ギャップを避けて樹林帯を下降する。切れ落ちたバンドを通過し、草付きを登っていくと鹿ノ窓へ登る鎖場に着く。逆層気味で少し登りにくい。次に小ギャップの二つの鎖場。下りは岩が濡れていて気色悪い。対面の登りの岩場は垂直だが、スタンスが取れるので問題なく登れる。第一高点に着くと、角兵衛沢から登頂した先客に拍手で迎えられる。角兵衛沢の下りはそう難しくはないが、歩くたびに岩が動くので落石には注意が必要。戸台大橋のバス停のおっちゃんに大変お世話になり快適に仙流荘に戻ることができた。



中ノ越から第二高点の登り



鹿ノ窓の登り



第一高点への最後の登り



鹿ノ窓



鋸岳 (第一高点)



角兵衛沢

22(月)道の駅⇒羽広観音駐車場⇒経ヶ岳 2,296m(200 名山)⇒羽広観音駐車場⇒みはらしの湯⇒帰阪

台風が来るというので、朝起きて天気が悪ければ経ヶ岳は止めて帰ろうと話していたが、予想外に晴れているので登ることに。登山道はよく整備されていて登りやすい。花も多く、写真を撮りながら進むので、前日までの登山で疲れた体にはちょうどいい。7合目あたりから台風の影響で風が強まる。頂上に着いて昼飯でもと思っていたが、無茶苦茶寒くて早々に退散。7合目の小ピークまで降りてようやく昼食。途中で雨に降られるだろうと覚悟していたが、最後まで降られずに済んだ。晴れ男二人、少し緊張したが楽しい3日間の山行であった



羽広観音



フジグロセンノウ



ホトトギス



ミヤマトリカブト



マツムシソウ



経ヶ岳山頂